

防災まちづくりニュース

第12号
下石神井地区版
令和7年
(2025年)
11月発行



ブロック塀早積みゲーム



消防車



防火服体験



家の揺れ方が
こんなにも違う!!



ねり丸ガチャもあるよ!

防災まちづくり キャラバン2025

12月13日(土)
午前9時30分～正午 小雨決行

※悪天候等により延期または中止する場合があります。
最新情報はホームページでご確認ください。



※地区外にお住いの方々もご参加いただけます。
※イベントは予告なく中止、または内容変更する場合があります。
※本イベント参加中の事故や怪我および損害に対する一切の責任
は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先
練馬区 都市整備部 防災まちづくり課 防災まちづくり担当係 (担当: 飯倉、吉野、寺田)
〒176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号 (本庁舎15階)
電話: 03-5984-1303 FAX: 03-5984-1225 Email: BOUMACHI@city.nerima.tokyo.jp



「防災まちづくり事業」
のホームページはこちら

阪神・淡路大震災から30年 ～木造住宅密集地域の延焼等の被害～



中面 過去の延焼被害等を知る
助成制度のご案内
裏面 防災イベント紹介

えげやま
神戸市 兵庫区 会下山付近 平成7年(1995年)1月18日
写真出展 神戸市

木造住宅密集地域の 延焼等の被害とは？

「木造住宅密集地域」とは、老朽木造住宅が密集しているため、震災時などには、延焼や建物倒壊等による被害拡大の恐れがある地域のことです。

平成7年（1995年）に発生した阪神・淡路大震災では、路地が狭く密集した老朽木造住宅が多かった長田区を中心に大規模火災が発生するなどした結果、死者6,000人以上、建物の全焼7,000棟以上など、甚大な被害に見舞われました。

また、震災以外の単一出火による被害の例としては、1軒からの出火が老朽木造住宅が密集する地区に燃え広がり、147棟、約40,000㎡を焼損する大規模火災となった新潟県糸魚川市の大火（平成28年（2016年）12月）があります。

下石神井地区にも、老朽木造住宅が密集しているエリアが存在するため、震災時などには、延焼や建物の倒壊による被害が懸念されています。

写真出典 特別報道写真集 令和6年能登半島地震（北國新聞社発行）

老朽木造住宅の危険性



老朽木造住宅



災害に強い住宅

老朽化した木造住宅が密集する地域では、震災時の燃え広がりや建物倒壊等による被害拡大の恐れがあります。

【古い住宅の建替え等の 費用を助成します！】

昭和56年5月以前に新築工事に着手した住宅（旧耐震住宅）の建替え、解体および耐震改修の費用を助成します。

建替え工事

助成金額
225万円 上限

解体工事

助成金額
150万円 上限

耐震改修工事

助成金額
270万円 上限



【建替え・解体の助成】

【住宅の耐震化助成】

03-5984-1938

防災まちづくり課耐震化促進係



ブロック塀等倒壊の危険性

倒壊の危険性分かる
動画はこちらから



ブロック塀等の倒壊により、人的・物的な被害が生じたり、避難路が塞がれたりする恐れがあります。

【危険なブロック塀等の撤去費用を 助成します！】

倒壊による被害や震災時に道路閉そくを防止するため、ブロック塀等の撤去費用を助成します。

閉そく防止路線沿いの助成金額

21,000円/m 上限

※指定路線以外での助成金額：通常8,000円/m上限
危険性の高いブロック塀等の場合19,000円/m上限
※撤去する部分が高さ1mを超えるブロック塀等の場合、その高さに応じた助成額の加算があります。

【ブロック塀等の撤去助成】

03-5984-1303

防災まちづくり課防災まちづくり担当係



狭あいな道路の危険性



道が狭いことにより、震災時における避難行動や、救急車など緊急車両の通行が妨げられる恐れがあります。

【狭あい道路の解消を支援します！】

震災時の避難等を円滑にするため、狭あい拡幅促進路線沿いでは、狭あい道路（公道）を拡幅する際の土地の寄付に対して奨励金を交付します。

交付金額

20万円 上限

※後退用地の寄付面積×相続税路線価×0.1の金額（上限20万円）が交付金額になります。

※このほか、支障物の撤去など、狭あい道路の拡幅に係る費用への助成制度があります。

【狭あい道路の拡幅助成】

03-5984-1303

防災まちづくり課防災まちづくり担当係

